

関東ラグビーフットボール協会
会長 水谷 眞 様
関西ラグビーフットボール協会
会長 坂田 好弘 様
九州ラグビーフットボール協会
会長 森 重隆 様

日ラグ協発第 18-848 号
平成 31 年 1 月 17 日

競技規則の改正 (通達)

(公財)日本ラグビーフットボール協会
専務理事 坂本 典幸



拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則につきまして、ワールドラグビーよりこのほど、下記の通り条文改正に関する通達が出されました。日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。
貴協会におかれましても加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

ラグビーコミッティーの提案に基づき、ワールドラグビー執行理事会にて、定款に従って、以下、競技規則第 6 条、および、第 15 条に関する条文修正が承認された:

・ 競技規則第 6 条(TMO)

2018 年 11 月に行われた改正版 TMO プロトコルの試験実施で一定の成果が得られたため、正式導入を決定した。詳細は、競技規則 6.16 (以下、リンク) を参照:

<https://laws.worldrugby.org/?law=6>

・ 競技規則第 15 条 (ラック)

タックルおよびラックにおけるオフサイドラインに関する条文についてより一貫性を保つために改正が必要と判断し、競技規則 15.4 を以下に記すリンクの通り、改正する:

<https://laws.worldrugby.org/?law=15>

どちらの改正も即日施行だが、TMO プロトコルについては、2019年1月1日以降に始まるスーパーラグビー、シックスネーションズ、RWC を含めたすべての大会を対象とし、これまでのTMO プロトコルで運用されている現在進行中の大会は、大会が終了するまでそのままの運用を可能とする。ただし、大会途中でも改正版プロトコルの施行を希望する場合は、それも可能である。

以上